

## 政府主催 平成30年度情報化月間記念式典を開催

### 情報化促進に貢献した個人・企業等を表彰

政府主催の「平成30年度情報化月間記念式典」が10月1日、東京・中央区の東京証券会館で開催された。

我が国の健全な情報化を推進するために、通商産業省（現・経済産業省）をはじめとする関係省庁が連携し、1972年に始まった情報化月間は、今年で47年目。記念式典には、経済産業省から平木大作大臣政務官<sup>※</sup>、総務省から小林史明大臣政務官<sup>※</sup>、文部科学省から藤野公之大臣官房サイバーセキュリティ・政策立案総括審議官、国土交通省から築和生大臣政務官<sup>※</sup>が出席した。表彰に先立ち、平木大作経済産業大臣政務官は次のように挨拶した。

「AIやIoTの登場により、第四次産業革命とも言われる社会全体の構造変化が怒涛の如く押し寄せています。この時代に日本が勝ち残り、世界をリードしていくためには、さまざまな産業、企業がデータを介してつながった『Connected Industries』の実現が重要な鍵となります。このコンセプトは、新たな産業を創出し、生産性を向上させるのみならず、少子高齢化、人手不足など日本が抱える社会問題の解決につながるものと信じております。経済産業省ではこの実現に向け、企業等のデータの共有、活用の促進、多様な人材の育成、革新的な技術や新たなビジネスモデルの社会実装を促進する規制改革、サイバーセキュリティの強化などの取り組みを全力で推

し進めております。本日表彰される皆様方を端として、我が国の情報化に大きな足跡を残す、個人や企業、団体が続くことを願ってやみません」

続いて情報化促進貢献表彰が行われ、受賞者を代表して、星城大学リハビリテーション学部客員教授三田勝己氏が、「重

度な障害や合併症を持ち通学が困難な生徒が、居宅と学校をICTでつなげることで、通学生とともに学習することが可能となりました。ICT訪問教育は特別支援教育を革新する大きな可能性を秘めています。引き続き特別支援教育の充実を目指して、情報化教育や研究に従事したいと思います」と謝辞を述べた。

この後、受賞者を代表して、ピー・シー・エー株式会社取締役相談役水谷学氏による「時代の変わり目に貢献した人々」、株式会社愛媛CATV取締役会長神山充雅氏による「ケーブルテレビの地域貢献」の特別講演で幕を閉じた。  
※は10月1日時点の役職。



挨拶する平木大作  
経済産業大臣政務官